

安全管理体制の強化

安全管理方法

保安監査

鉄道の現業5部門に対して、安全推進部が毎年約1ヵ月かけて保安監査を実施しています。現場調査・書類調査・ヒアリングなどを通じて、鉄道の安全が確実に確保されているか、旅客サービスが適正に行われているかをチェックします。監査結果は社長、安全統括管理者、監査役に報告します。指摘事項があった場合は半年後にフォローアップを実施し、改善状況を確認します。また定期監査のほか、必要に応じて臨時に監査を行います。この他、各部管理職が自らの部門に対して行う部内監査も年1回実施しています。



保安監査

安全マネジメント監査

保安監査と同時に安全マネジメント監査も実施しています。鉄道の現業5部門だけでなく、社長、安全統括管理者、人事部、経営戦略担当、安全推進部および鉄道企画部も監査対象になっています。

安全管理規程に則り、安全管理体制が適切に確立され、実施され、維持され、機能しているかを確認します。

鉄道安全大会

安全管理体制における社員教育の一環として、平成25年3月に第5回鉄道安全大会を開催しました。出席者は約270人で、来賓に近畿運輸局鉄道部をお迎えしました。大会においては、『平成24年度の安全マネジメント報告』『平成24年度のエラーから学ぶこと』『鉄道の重大事故とその対策』『各部門安全重点施策発表』を行いました。また、基調講演として慶應義塾大学理工学部の岡田教授より『現場中心型の安全活動へー利用者が安心・快適に感じる活動の実践ー』を学びました。

最後に参加した役員・社員全員で安全基本方針を唱和し、安全の誓いを新たにしました。



鉄道安全大会

教育・訓練

総合防災訓練

地震や津波などの自然災害に対し、適切に対応できる能力の向上を目的とした訓練を毎年実施しています。平成25年2月に、東南海・南海地震の発生を想定した訓練を実施しました。

約240人が参加し、最寄駅への列車移動・避難誘導・情報の収集伝達・車両・設備の点検などを行いました。



総合防災訓練

総合事故復旧訓練

列車事故など緊急時における対応力の強化を目的とした訓練を毎年実施しています。平成24年11月に、淀車庫において、『列車通過直前の踏切道に自動車他突然進入してきた』との想定で訓練を実施しました。

近畿運輸局・警察署・消防署の協力のもとで、社長以下約180人が参加し、人命救助・避難誘導・二次災害防止・情報の収集伝達・車両・設備の復旧などを行いました。



総合事故復旧訓練